（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　Gripキッズ千葉市役所前校			
○保護者評価実施期間	令和8年1月28日		～	令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	35	（回答者数）	14
○従業者評価実施期間	令和8年1月29日		～	令和8年2月5日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達特性に合わせた総合的な支援の充実	日々の記録や職員間での話し合いを十分に行い、利用者や保護者様のニーズを的確にとらえるためにコミュニケーションを適切に行っている。	常勤職員に留まらず、非常勤職員にもこの事業所の強みを認識し、それを生かした支援が行えるよう指導を行っていく。
2	児童一人一人が心地よく過ごすことができるための環境調整	個々の発達特性に応じて別室での支援を行うことや、職員の目が行き届くように（かつ児童の自立を促し）職員配置を行っている。	保護者の方とより緊密なやり取りをおこない、児童を中心とした支援が充実できるよう配慮していく。また、職員を対象としたスキルアップを定期的に行っていく。
3	個人情報の取り扱いをはじめとした、各種契約時に説明し同意を得ていることに対する管理の徹底	特に常勤職員が個人情報を多く取り扱う機会があり、十分注意するように共有している。また、ダブルチェックを行う体制に努めている。非常勤職員に対しても、入職の段階で誓約書を記入してもらっている他、研修も実施している。	左記の対応を継続するとともに、第三者のチェックが行われることが望ましいと考える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の機関との連携	日々の支援を充実させることを最優先と考えているため、他事業所などとのかかわりは後回しになりがちになっている。	①地域資源をしっかりとアセスメントする ②アセスメントを踏まえて、他事業所とのコミュニケーションを促進する
2	職員間の情報共有（保護者への周知事項を、職員間でも共有する）	保護者向けに情報提供を行っているが、それ自体が非常勤職員に共有されていないことがある。原因の多くは非常勤職員の勤務時間の都合から、共有の時間を取れないことにある。	朝礼の時間を有効活用し、その日の支援だけでなく、事業所全体の動きを共有していく。
3			